

取材・記事掲載のお願い

映像展のお知らせ
【ストップモーション アニミズム (STOP MOTION ANIMISM) 展】
東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻立体ゼミ
伊藤有壱＋ゼミ修了生有志による立体アニメーション展

平素お世話になっております。

この度、上記映像展を企画・発表する運びとなりました。

制作者であり、映像教育にも関わってきた伊藤有壱がライフワークとして取り組む映像企画です。

まずはご一読頂けますよう、宜しく願い申し上げます。

「クレイアニメ」や「パペットアニメ」として世界に広く親しまれている「ストップモーションアニメーション (Stop Motion Animation)」は、被写体を少しずつ動かしては1フレームずつ撮影したイメージを再生させて「動き」を創出するアニメーション表現の一種です。日本では「駒撮り (こまどり)」の通称で知られますが、世界でスタンダードとされる「Stop Motion Animation」という視点からこの表現を捉え直し、「生命を吹き込む」といわれる背景に、映画史以前から人類が感じてきた「アニミズム (Animism) 一汎霊説一」への憧憬に迫るアクションとして、「STOP MOTION ANIMISM ストップモーション アニミズム」を宣言します。

その第一歩として、2008 年スタートした国立教育機関、東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻の「立体領域」が輩出した修了生の学生時代の作品と、その現在の才能にスポットを当てます。制作環境やアナログ技術の特殊性から、希少性ばかりに目が向けられた時代から、誰でも創ることが可能な表現へと変貌を遂げた「ストップモーションアニメーション」の現在と、その未来を感じ取っていただければ幸いです。

本展は、世界で「アニメ大国」の評判高い日本の中で、知られざる領域として成長を遂げている「ストップモーションアニメーション」の現在にスポットを当てた貴重な映像アート展となります。ぜひとも、取材・広報にお力添えいただけますよう、宜しく願い申し上げます。

企画責任者 伊藤有壱
アニメーションディレクター
東京藝術大学 教授 (大学院映像研究科アニメーション専攻立体領域)

開催概要

- イベント名 : 【ストップモーションアニミズム (STOP MOTION ANIMISM) 展】
副題 : 東京藝術大学大学院映像研究アニメーション専攻立体ゼミ
伊藤有壱＋ゼミ修了生有志による立体アニメーション展

- 主催 : f.e.i art gallery／東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻 伊藤有壱研究室

(次のページへ)

●協力：東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻／フォトヨコハマ／I. TOON Ltd.

●会期：2018年3月4日（日）～3月18日（日）10:00～19:00 ※月曜日（3/5, 3/12）休廊

●3月4日（日）17:15～18:45 レセプション

●参加作家によるトークショー（各回1時間程度を予定しています）

3月9日（金）18:00～/ 3月11日（日）13:00～/ 3月17日（土）13:00～

●会場：FEI ART MUSEUM (<http://www.f-e-i.jp>)

〒221-0835

横浜市神奈川区鶴屋町3-33-2 横浜鶴屋町ビル1F (tel 045-411-5031 fax 045-411-5032)

●内容：ショートアニメーション作品上映／作品解説／撮影物展示／作家によるトーク等

●参加作家（予定）

伊藤有壱、河野宏樹、河野亜季、秦俊子、宮澤真理、当真一茂、若井麻奈美、坂上直、栗原萌、餅山田モチ世、武田浩平、小川育、Mandy Lam、宮崎しずか、廣安正敬、石井寿和、白石慶子、／他

※作家ならびに上映作品は、予告なく変更する場合がございます。ご了承ください。

●企画概要

ストップモーションアニメーション（Stop Motion Animation）は、対象物に変化を与え1フレームずつ撮影した画像の連続再生によって「動き」を創出するアニメーション表現の一種です。日本では「駒撮り（こまどり）」の通称で知られますが、世界でスタンダードとされる「Stop Motion Animation」という視点からこの表現を捉え直し、「生命を吹き込む」といわれる背景に、映画誕生以前から人類が感じてきた「アニミズム（Animism）ー汎霊説ー」への憧憬に迫るアクションとして、「STOP MOTION ANIMISM ストップモーション アニミズム」を宣言します。

その第一歩として、2008年スタートした国立教育機関、東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻の「立体領域」が輩出した修了生の学生時代の作品と、その現在の才能にスポットを当てます。本展実現に際し、f.e.i art gallery 及びフォトヨコハマより多大なご協力を賜りました事、深く感謝申し上げます。

制作環境やアナログ技術の特殊性から、希少性ばかりに目が向けられた時代から、誰でも創ることが可能な表現へと変貌を遂げた「ストップモーションアニメーション」の現在と、その未来を感じ取っていただければ幸いです。

●お問合せ：stopmotionanimism@gmail.com

または、itoon@mu2.so-net.ne.jp

TEL 045-222-6255 (I. TOON 大塚)

〈 エキシビジョン内容 〉

【 上映プログラム A 】

東京藝術大学大学院在学時代のショートアニメーションプログラム
(4 0 - 5 0 分プログラムを複数予定)

【 上映プログラム B 】

修了後の作家活動。商業企画などのアニメーション映像プログラム
(4 0 - 5 0 分プログラムを複数予定)

【 展示 】

上映作品で使われた人形や美術セットの一部、新作立体オブジェなどを展示

【 作家によるトークステージ 】

3 月 9 日 (金) 18 : 00 ~ / 3 月 11 日 (日) 13 : 00 ~ / 3 月 17 日 (土) 13 : 00 ~

各回 80 分程度、作家複数名による登壇・対談

【 レセプション 】

3 月 4 日 (日) 17 : 15 ~ 18 : 45

作品と軽食をお楽しみ頂きながら、作家とご歓談頂けます。
誠に恐れ入りますが、ご招待制とさせていただきます。ご了承下さい。

【 会場について 】

2012 年に設立された FEI ART MUSEUM YOKOHAMA は「日本において、アートをもっと身近に感じてほしい」という願いから、様々な企画展示を開催するミュージアムです。

本イベントは、「撮る・みる・楽しむ。写真の祭典 PHOTO YOKOHAMA」のパートナーイベントとして、フォトヨコハマ実行委員会・FEI ART MUSEUM YOKOHAMA 両者ご協力の元に開催致します。



FEI ART MUSEUM YOKOHAMA

〒221-0835

横浜市神奈川区鶴屋町 3-33-2

横浜鶴屋町ビル 1F

TEL 045-411-5031 / FAX 045-411-5032

URL <http://www.f-e-i.jp>

〈アクセス〉

横浜駅西口、ダイヤモンド地下街南

12 番出口より徒歩 3 分

鶴屋町 3 丁目交差点角にあります。

企画書

【ストップモーション アニミズム (STOP MOTION ANIMISM) 展】 東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻立体ゼミ 伊藤有壱+ゼミ修了生有志による立体アニメーション展

ストップモーションアニメーション (Stop Motion Animation) は、対象物に変化を与え1フレームずつ撮影した画像の連続再生によって「動き」を創出するアニメーション表現の一種です。日本では「駒撮り (こまどり)」の通称で知られますが、世界でスタンダードとされる「Stop Motion Animation」という視点からこの表現を捉え直し、「生命を吹き込む」といわれる背景に、映画誕生以前から人類が感じてきた「アニミズム (Animism) 一汎霊説」への憧憬に迫るアクションとして、「STOP MOTION ANIMISM ストップモーション アニミズム」を宣言します。

その第一歩として、2008年スタートした国立教育機関、東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻の「立体領域」が輩出した修了生の学生時代の作品と、その現在の才能にスポットを当てます。本展実現に際し、f.e.i art gallery 及びフォトヨコハマより多大なご協力を賜りました事、深く感謝申し上げます。

制作環境やアナログ技術の特殊性から、希少性ばかりに目が向けられた時代から、誰でも創ることが可能な表現へと変貌を遂げた「ストップモーションアニメーション」の現在と、その未来を感じ取っていたければ幸いです。

企画責任者 伊藤有壱
アニメーションディレクター
東京藝術大学 教授 (大学院映像研究科アニメーション専攻立体領域)

〈 情報 〉

- イベント名：ストップモーション アニミズム (STOP MOTION ANIMISM) 展】
副題：東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻立体ゼミ
伊藤有壱+ゼミ修了生有志による立体アニメーション展
- 主催：f.e.i art gallery
東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻 伊藤有壱研究室
- 協力：東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻／ フォトヨコハマ／I. T00N Ltd.
- 会期：2018年3月4日 (日) ～3月18日 (日)
- 会場：FEI ART MUSEUM <http://www.f-e-i.jp>
〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 3-33-2 横浜鶴屋町ビル 1F
(tel 045-411-5031 fax 045-411-5032)
- 内容：ショートアニメーション作品上映／作品解説／撮影物展示／作家によるトーク等
- 参加作家 (予定)
伊藤有壱、河野宏樹、河野亜季、秦俊子、宮澤真理、当真一茂、若井麻奈美、坂上直、栗原萌、餅山田モチ世、武田浩平、小川育、Mandy Lam、宮崎しずか、廣安正敬、石井寿和、白石慶子、／他

ストップモーションアニメーションとは？

Aki KONO
河野 亜季

Toshikazu ISHII
石井 寿和

Yuichi ITO
教授 伊藤 有壺

Toshiko HATA
秦 俊子

MOCHIYAMADA MOCHIYO
餅山田 モチ世

Hiroki KONO
河野 宏樹

Keiko SHIRAISHI
白石 慶子

Shizuka MIYAZAKI
宮崎 しずか

Masataka HIROYASU
廣安 正敬

Kazushige TOMA
当真 一茂

Manami WAKAI
若井 麻奈美

Mari MIYAZAWA
宮澤 真理

Moe KURIHARA
栗原 萌

Ataru SAKAGAMI
坂上 直

Kohei TAKEDA
武田 浩平

Iku OGAWA
小川 育

Mandy LAM
林文蕙

STOPMOTION ANIMISM ストップモーション アニミズム展

東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻 立体ゼミ
伊藤有壺＋ゼミ修了生有志による 立体アニメーション展

2018.3.4(sun)-3.18(sun)

※最終日は17:00まで

公式サイト

<https://stopmotionanimism4.wixsite.com/sma2018>



公式サイト

レセプション 3.4(日) 17:15 ~ 18:45

※レセプションは御招待客のみとさせていただきます。

参加作家によるトークショー

(各回1時間程度を予定)

3.9(金) 18:00~

3.11(日) 13:00~

3.17(土) 13:00~



FEI ART MUSEUM YOKOHAMA

協力 東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻/I.TOON Ltd

会場へのアクセス



FEI サイト

FEI ART MUSEUM YOKOHAMA

10:00~19:00 ※月曜(5日・12日) 休廊

〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町3-33-2

横浜鶴屋町ビル1F TEL 045-411-5031

ウェブサイト <http://www.fe-i.jp>